

死ぬほど、生きる。

無名の人生

監督——原案——作画監督——出演——ACE COOL
美術監督——撮影監督——色彩設計——田中偉登——宇野祥平
キャラクターデザイン——音楽——編集——猫背椿 鄭玲美 鎌滝恵利 西野諒太郎 (シンクロシティ)
鈴木竜也 中島歩 毎熊克哉 大橋未歩 津田寛治

プロデューサー——岩井澤健治 (『音楽』『ひやくえむ。』)
宣伝・キャスティング協力: 平井万里子 | 撮影・特殊効果: 富田大秀
音響監督・録音・音響効果・整音: 鈴木修二 | 音楽アレンジ: 原夕輝
配給: ロックンロール・マウンテン | 配給協力: インターフィルム
[2024 年 / 93min / カラー / シネスコ / 5.1ch] © 鈴木竜也

数々の映画祭を席卷した鈴木竜也、満を持しての劇場長編アニメーションデビュー

制作期間7年半、総作画枚数4万枚超で国内外を席卷した岩井澤健治監督作『音楽』、世界の映画賞で称賛されたストップモーションアニメ『JUNK HEAD』に続く、個人制作の長編アニメ映画

の新たな傑作が誕生——

人は生まれてから死ぬまでに、あだ名や続柄、芸名や源氏名に蔑称まで、いくつかの呼称を持ちながら、それぞれの人生を送っている——『無名の人生』は、全10章にそれぞれ主人公の別名を冠し「誰にも本当の名前と呼ばれることの無かった男」の波乱に満ちた100年の生涯を描く、前代未聞の物語である。

——仙台の団地

でひっそりと暮らす、

いじめられっ子の主人公。やがて

彼は、

ある転校生との出会いから、父親の背中を追ってアイドルを夢見るように。そこから、囂らずも成り上がっていく主人公の美しくも悲哀に満ちた人生が

高齢ドライバー

や芸能界の闇、

若年層の不詳の死、戦争など、今まさに我々を取り巻く社会問題

を背景に描かれていく。「彼」が最後に直面する、誰も見たことのない景色とは——

015 ベビート JETHO

脚本をあえて準備せず、章ごとにタッチや色彩を変化させ、観る者を飽きさせない変幻自在な映像表現を生み出したのは、短編作品がびあフィルムフェスティバル、下北沢映画祭ほか国内の映画祭を席卷した新鋭・鈴木竜也。

たった一人で監督・原案・作画監督・美術監督・

撮影監督・色彩設計・キャラクターデザイン・音楽・編集を兼任し

満を持しての長編アニメーション監督デビューを果たす。そして、声の出演は、

監督のための 希望で抜擢された孤高のラッパー、ACE COOL。少ない台詞ながら

も主人公の心の揺らぎと悲哀を繊細に

表現した。そのほか、田中偉登、宇野祥平、猫背椿、鄭玲美、鎌滝恵利、西野諒太郎、中島歩、毎熊克哉、大橋未歩、津田寛治ら、監督の孤高の映画作りと、唯一無二の作風に共鳴したキャストが集結。長編アニメーションの新たな傑作がここに誕生した。

【名画座2本立て】12/26(金)～12/31(水) (1/1(木)休館) 上映

併映作品『かたつむりのメモワール』

JR 大塚駅・東口 西武大塚店 5F
「テアトルシネマグループ」

キネカ大森

03(3762)6000 ttcg.jp